

議員派遣結果報告書

1	名 称	令和6年度市町村議会議員研修（2日間コース） 「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～」
2	場 所	滋賀県大津市 全国市町村国際文化研究所（JIAM）
3	期 間	令和6年10月21日（月）から22日（火）までの2日間
4	内容・成果	<p>*研修の目的 住民の関心を高め、二元代表制の一翼を担う議会として、役割を果たすために、各議会における改革の糸口を掴むこと</p> <p>*研修のポイント ・議会改革を進めるにあたっての基本的な事項について学ぶ ・議会への住民参加、情報公開に関して、先進事例の紹介を聞き、意見交換等を通じて理解を深める ・ダイアログ（コミュニケーション方法）を用いた演習を体験し、会議や議員間討議の進め方を学ぶ</p> <p>*講義 地方議会の展望 講師 北川 正恭氏（早稲田大学 名誉教授） <u>議会や議員に求められている役割やあり方について</u> 今のままでいいのかどうか、気づきを！</p> <p>① 思い込み打破 中央集権体制から脱却：2000年地方分権一括法は、地方自治体の自主性や自立性を高めることを目的とした法律で、国と地方の関係や役割分担を見直すことで、地域の実情に沿った行政を展開することを可能にしました。 地方分権一括法の主な内容としては、 ・国から地方への権限や財源の移譲 ・国が決定していた基準や施策の見直し ・国がやるべき仕事を地方自治体にやらせていた機関委理事務の廃止 ・国と地方の関係を従来の上下関係から対等・協力関係に改める</p> <p>② 議会の役割は執行部の監視だけでない ・議会の役割は合議制に基づいて、民意の反映をする</p>

民意の代弁者、規則間違っていれば、自分たちで議員条例提案すればいい。

- ・チーム議会を高める(参考東京都墨田区議会)
- ・議会事務局と共につくる

自分たちが住民の代表だから、住民にとって必要なことをやる。

③ 定数削減、報酬削減、政務活動費削減は改革とは言えない

- ・住民福祉の向上に議会が貢献する改革
- ・個人の意見ではなく議員全体で議員間討議を大切に。
- ・追認するだけの議会を脱却しなければならない。
- ・地方創生・・・自分たちの町に何が必要かを議員間討議する。

④ 地方から国を変える

- ・地方は議会から変える
自分たちが議会を変える
あらゆる場面で議員間討議して、執行部へ提案していく
- ・議員活動、議会活動を見える化されているところは議員報酬UPしている。

* 講義 「議会改革度調査」から見る地方議会

講師 中村 健氏(早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長)

- ・何のために、開かれた議(情報共有、住民参加)を目指すのか。
- ・ 取手市議会「デモテック(デモクラシー・テクノロジー造語)」
テクノロジーを活用して新しい民主主義のインフラ整備に挑戦
- ・ 熊本市
高齢者がデジタル町内会開催
小学生がタブレット使用して道路整備を提案し実現
- ・住民福祉の向上のためには従来の予算の使い方は楽だが、住民意識や価値観の変化とのギャップは大きくなっていく。
マーケティング(調査)、分析、政策立案、実行、検証が重要。
- ・SDGs(持続可能な開発目標)多様性
若者の考えるまちづくりをどうやって作っていくか!
未来の人たちの考え方を知る努力も必要。
例えば誰一人取り残さない公園
神奈川県開成町 町庁舎 = ZEB 庁舎(地下水と太陽光)
- ・議会は住民から「まちづくり」を期待されている
議会の活動 = まちづくり
- ・改革とはより快適に環境を整えていくこと。
町の課題解決や未来のことは議会が決めている
例:傍聴規則・・・氏名記入等必要とされているが、

太田市議会の傍聴は氏名記入必要ない、乳幼児入場可。

***事例紹介・演習**

住民参加・情報公開を進める取組①

事例:石川県加賀市議会 副議長 上田朋和氏

コーディネーター:中村 健氏(早稲田大学マニフェスト研究所)

加賀市議会の取り組み

・議会基本条例

議会が目指すべき姿を掲げ、具体的な取り組みを明文化

・開かれた議会へ

小学生の議会傍聴、フェイスブック開始、本議会ライブ中継
ユーチューブ番組開始、インスタグラム開始、
オンライン会議の実施、議会のホームページ刷新、
議会だよりの改善(読みやすく、わかりやすく)
広報の方法の工夫(配布場所、フェイスブックに先行掲載)

・市民が参加する議会へ

女性議会、小学生・中学生・高校生議会、高校生との意見交
換会、議会だよりモニター員制度、
議会おでかけ教室(小・中学校)、議会モニター員制度、
オンラインによる意見交換会、
議会報告会は「議会おでかけトーク」としてグループトーク方
式を導入

・政策提案する議会へ

ポイ捨て等防止条例、地域医療を守る条例、乾杯条例、
災害対策基本条例、読書活動推進条例等

・執行部への提言

観光地としての温泉地の維持・発展のための提言書

・議会 PPDCA サイクルの導入(PPDCA サイクル運用規定)
(Plan、Process、Do、Check、Action)

事業の進行管理、活動の振り返り、取組評価、次の目標設定

・土日議会開催

・議場内にプロジェクターと100インチスクリーン設置

・傍聴席モニター設置

事例:宮城県

芝田町議会 議長 高橋たい子氏

「体系的な議会政策サイクルと ICT 技術を活用した情報発信・交
流で住民の声や災害に対応できる議会へ」

「小さな気づきを大切に、できることから一つずつ」

① 政策づくりと監視機能

- ・ 議会活動の検証(チェックシートを活用し議会基本条例を検証、結果と行動計画を公表)
- ・ 政策サイクル
通年議会・常任委員会の活発化のため。いつでも調査できる。
- ・ ワールド・カフェ形式の自由討議
決算・予算審査をワールド・カフェ形式で議員間討議
意見は分科会・全体会を通して、まとめ提言書として町長へ

② 住民に開かれた議会

- ・ 議会懇談会
一般懇談会(ワールド・カフェやワークショップ形式)
団体懇談会(委員会ごと開催、議会として町へ提言できるような活動)
高校生との懇談会(授業の一環として)
- ・ 公開議員研修会
- ・ デジタルツールを活用した情報発信
議会ホームページ、フェイスブック、インスタグラム、ユーチューブ

③ 災害に対応できる議会

- ・ 災害・感染症に対する取組
タブレットを活用した安否確認・情報共有
コロナ禍でも止めない議会運営・オンラインで一般懇談会、
オンラインで議会運営委員会

演習：各議会における今後の議会改革推進の検討

効率的な会議の行い方について学ぶために「議会広報を考える」(議会だよりをどのように改善するか。課題、要因、解決策、結論)をテーマにダイアログ(対話)の手法を用いた演習を体験し、どのように議員間討議を行うか、どのような手法を用いれば会議の成果が挙がるかを学んだ。

<成果>

- ・ 議会の役割について再認識できた。
- ・ 議会改革について重要性を認識できた。
- ・ 印象深い言葉として議会改革は民意を反映して改革する。

改革とはより快適に環境を整えていくこと。

チーム議会、個人の意見ではなく、議員間討議を大切にして自分たちの町に何が必要か議員全体で取り組み、執行部へ提案していく。追認するだけの議会を脱却しなければならない。

		<p>良いことは TTP（徹底的にパクる）。</p> <ul style="list-style-type: none">・気づきを大切にして、意見を出し合って、決めていく。全員一致したものを残す。一致しなかったものは調査したり、一般質問していく。・議員間討議、自由かつ達な討議が活発にすすめられるよう取組み、チーム議会として活動できるように努力していきたい。
--	--	---

提出期限 令和6年11月5日（火）まで